

かにクレーン



- 油圧走行 無段変速
- ハイパーラジコン
- 5角形ブーム 全自動5段
- クレーン容量 2.82
- 格納時全幅 750
- 中央タンDEM
- 誤操作防止
- 転倒警報装置
- アウトリガ 操作スイッチ



■ 連続使用に強いウインチ

ウインチは、連続使用に耐える油圧ディスクブレーキを採用。長時間にわたるクレーン作業が可能です。



■ 段差に強い中央タンDEM方式

段差のある場所やトラックへの積み卸しの際、クローラの中心部分が折曲し、スムーズな走行が行えます。



■ 安全設計で誤操作を防止

走行レバースタンドを走行位置にセットすることにより、クレーン回路が防鎖されます。従って、走行時のクレーン操作レバーの接触による誤操作を防止しています。



■ 転倒警報装置

本体の転倒を未然に防止するため、転倒警報装置を標準装備。クレーン使用時には3°、走行時には15°で警報が鳴ります。

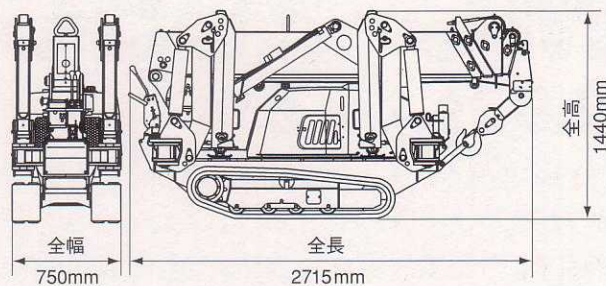


■ アウトリガ操作パネル

アウトリガ操作は、スイッチタイプを採用。レバーによるクレーン操作との明確な差別化により、誤操作を防止しています。

SPECIFICATIONS

格納状態



主要諸元

クレーン容量	2.82 t × 1.4 m
最大作業半径	8.205 m × 0.15 t
最大地上揚程	8.7 m
巻上装置	フック巻上速度 8 m/min (3層4本掛) ワイヤロープ仕様 φ7 mm × 48 m
伸縮装置	ブーム形式 5角形全自動5段 (3~5段同時伸縮) ブーム長さ 2.535 m ~ 4.075 m ~ 5.575 m ~ 7.075 m ~ 8.575 m ブーム伸縮ストローク/伸縮時間 6.04 m / 22 sec
起伏装置	ブーム角度/起時間 0° ~ 80° / 14 sec
旋回装置	旋回角度/旋回時間 360° 連続 / 35.5 sec
アウトリガ	アウトリガ方式 1段屈折ステータンバ付、2段手動引出、油圧シリンダ直押し 最大張出幅 (左右) 4580 mm × (前) 4530 mm × (後) 3810 mm
走行方式	油圧モータ駆動無段変速
走行速度	0 ~ 2.2 km/h
走行装置	登坂能力 20° クローラ接地長 × 幅 975 mm × 200 mm 接地圧 43.2 kpa [0.44 kgf/cm ²]
原動機	型式 ヤンマー 2TNE68-MB 排気量 0.523 l [523 cc] 連続定格出力 6.57 kw / 2600 min ⁻¹ [9 PS / 2600 rpm] 始動方式 セルモータ方式 使用燃料/燃料タンク容量 JIS2号軽油 / 12 l
油圧	油圧ポンプ仕様/タンク容量 可変ピストンポンプ 6cc / rev × 2 / 20 l ラジコン形式 特定小電力、40波オートスキャン
遠隔制御装置	微速モード 可 ラジコンでのアウトリガ操作 可 (エンジンの始動・停止もラジコンにて可)
全長 × 全幅 × 全高	2715 mm × 750 mm × 1440 mm
全体質量	1720 kg

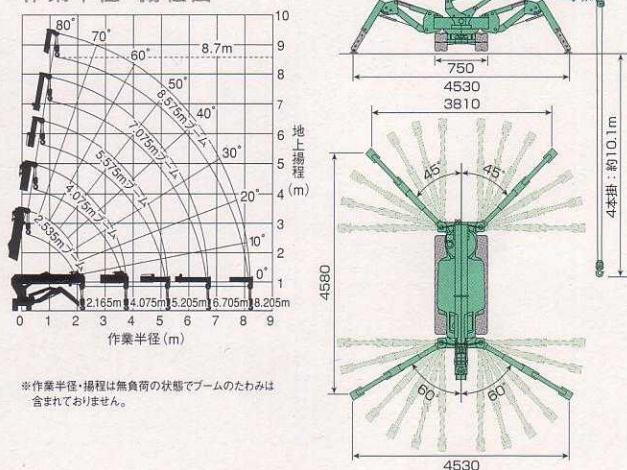
※単位は国際単位系によるSI単位表示。[]内は従来の単位表示を併記したものです。

定格総荷重表 (アウトリガ最大張出時)

4.075mブーム		5.575mブーム		7.075mブーム		8.575mブーム	
作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)	作業半径 (m)	定格総荷重 (kg)
1.4以下	2820	3.0以下	1220	3.6以下	820	4.0以下	550
1.50	2520	3.50	970	4.00	740	4.50	400
2.00	1920	4.00	780	4.50	580	5.00	340
2.50	1570	4.50	630	5.00	480	5.50	300
3.00	1220	5.00	530	5.50	430	6.00	270
3.50	970	5.205	530	6.00	380	6.50	230
3.705	920			6.50	350	7.00	200
				6.705	330	7.50	180
						8.00	150
						8.205	150

※上記表は、水平堅土上の値です。アウトリガの設置状態・地面の状態等により転倒することもありますので十分注意してください。
 ※定格総荷重は負荷時のたわみの含んだ実際の作業半径にもとづいています。
 ※アウトリガの張出状態及び張り具合によっては定格総荷重を吊り上げると転倒する場合がありますので注意してください。
 ※定格総荷重はフックブロック(20kg)の重量を含んだ重量を示します。

作業半径・揚程図



※作業半径・揚程は無負荷の状態でのためには含まれていません。